

平成27年度 静岡市の財務書類4表(普通会計)概要版

財務書類4表とは、市の会計方式ではあらわしにくい資産や負債の状況や行政サービスにかかるコストなどを、企業会計的手法により作成した書類です。

静岡市の財務諸表のポイント(対前年比)

資産：1兆3,676億円(+10億円)	負債：4,903億円(+32億円)
純資産：8,773億円(△22億円)	行政コスト：2,382億円(+89.5億円)
純資産比率：64.1%(△0.3ポイント)	将来世代負担比率：21.2%(±0ポイント)
受益者負担比率：3.8%(△0.3ポイント)	

『貸借対照表』の数値を、静岡市の人口で割り、市民一人当たりの額を算出すると、
市民一人当たりの資産192万6千円(+1.1万円) 負債69万1千円(+7千円)
 ※平成28年3月31日現在の住民基本台帳人口710,192人(外国人含む)

貸借対照表は、平成28年3月31日時点で市が保有する財産の状況(資産、負債及び純資産の残高)を表しています。
資産：1兆3,676億円のうち91.6%が学校や道路・公園などの主に建物や土地が占めています。建物の減価償却などにより14億円減少しましたが、基金の積立てなどにより10億円増額しました。
負債：4,903億円のうち90.5%を地方債が占めています。地方債残高が増加したことにより32億円増加しました。

行政コスト計算書は、福祉や教育などの市民サービスの費用(コスト)と、その対価として得た使用料などの収益を表しています。
 行政コストの47.5%が、主に子育て支援や生活保護などの社会保障給付からなる**移転支出のコスト**です。社会保障給付費の増などにより89.5億円増加しました。
経常収益は、廃棄物処理手数料などの受益者負担金の減により、5億円減少しました。

(単位：億円)

貸借対照表			
資産合計	13,676	負債合計	4,903
1 公共資産	12,534	1 固定負債	4,535
2 投資等	698	2 流動負債	369
3 流動資産	444		
うち歳計現金	67	純資産合計	8,773

(単位：億円)

行政コスト計算書	
経常行政コスト	2,382
・人にかかるコスト	457
・物にかかるコスト	733
・移転支出のコスト	1,132
・その他コスト	60
経常収益	90
純経常行政コスト	2,292

(単位：億円)

資金収支計算書	
経常的収支	454
+	
公共資産整備収支	△112
+	
投資財務的収支	△351
歳計現金増減額 ①	△9
期首歳計現金残高 ②	76
期末歳計現金残高 (①+②)	67

(単位：億円)

純資産変動計算書	
期首純資産残高	8,795
↓	
純経常行政コスト	2,292
+	
一般財源・補助金等受入	2,272
+	
臨時損益	△6
+	
資産評価替等	4
期末純資産残高	8,773

資金収支計算書は、1年間のすべての行政活動を資金(現金)の流れからみたものです。
 27年度末の歳計現金は、26年度末に比べ9億円減少しました。

純資産変動計算書は、貸借対照表の「純資産」(実質的な資産)について、1年間でどのようなお金の増減があったかを表す財務書類です。
 27年度末の純資産は、26年度末に比べ22億円減少しました。